

函館市医師会看護・リハビリテーション学院  
令和4年度学校関係者評価委員会

令和5年3月27日(月)  
単位・進級認定会議後  
於)五稜郭キャンパス講堂

出席者：学校関係者評価委員(外部委嘱者)8名  
学院関係者 学院長他10名

[報告事項]

1. 学事・庶務報告
2. その他

\* 各担当者より報告

[協議事項]

1. 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画(案)について
2. 令和4年度決算(見込)及び令和5年度予算(案)について
3. 短・中・長期計画(案)について
4. その他

\* 主な内容

令和4年度も昨年に引き続きコロナの影響を受けたものの、看護学科は、無事に2期生目の卒業生を輩出した。地域医療を担う看護師として一層の活躍を願うところである。一方、理学・作業療法学科の2学科は3学年までの完成年度を迎え、第1期の卒業生を無事輩出することができた。

学院運営に関しては、教育の質を担保すべく対面授業の継続(時に遠隔授業、ハイブリッド型授業)に関し評価をいただいた。また、コロナ禍でまだまだ感染拡大が予想される中、実習施設のクラスター、学生の感染や濃厚接触による代替策(学内実習等)を講じての対応に理解をいただいた。

各学科において、市内はもとより、道南圏を含めた地域医療に貢献すべく、他校との差別化を図り、向学心に富む優秀な学生確保に努めて参りたい。

以上